

2015年9月8日

報道関係各位

一般社団法人 太陽光発電協会

「第32回太陽光発電シンポジウム」プログラム内容決定について

一般社団法人太陽光発電協会（略称：JPEA、代表理事：長榮周作／パナソニック株式会社 代表取締役会長）は、来る10月22日（木）～23日（金）、ヒューリックホール（東京都墨田区）にて、「第32回太陽光発電シンポジウム」を開催致します（<http://www.jpea.gr.jp/sympo32.html>）。この度、全てのプログラム内容が決定しましたのでお知らせ致します。

《開催概要》

- 名称：第32回太陽光発電シンポジウム
～ 100年先まで続く太陽光発電の安定成長を目指して ～
- 日時：2015年10月22日（木）～23日（金） 9:30～17:30
- 会場：ヒューリックホール（東京都台東区／JR、地下鉄「浅草橋」駅より徒歩2分）
- 主催：一般社団法人 太陽光発電協会
- 定員：400名
- 参加費：一般 2日券/29,000円 1日券/18,000円
JPEA会員 2日券/26,000円 1日券/15,000円

《プログラム内容》**1日目：10月22日（木）**

- 9:30～9:35 ●開会挨拶
一般社団法人 太陽光発電協会 理事 泥 克信
- 9:35～9:55 ●来賓挨拶／特別講演
経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部長 藤木 俊光 氏
- 【セッション1】 日本版FIT：安定成長に向けたあるべき姿とは
- 9:55～10:50 ●日本版FIT：安定成長に向けたあるべき姿とは
東京大学 社会科学研究所 教授 松村 敏弘 氏
- 11:00～11:30 ●再生可能エネルギーの現状
経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
- 11:30～12:00 ●FIT導入3年と新たな展開へ
一般社団法人 太陽光発電協会 幹事 杉本 完蔵

Press Release

【セッション2】 100年先を見すえたエネルギーミックスと太陽光発電の役割

13:10～15:25 ●パネルディスカッション

テーマ：

100年先を視野に2050年時点のエネルギーミックスのあるべき姿と太陽光発電の果たす役割を考える

パネリスト：

東京理科大学大学院 教授 橋川 武郎 氏

公益財団法人 自然エネルギー財団 常務理事 大野 輝之 氏

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 上席イノベーションコーディネータ 近藤 道雄 氏

一般社団法人 太陽光発電協会 事務局長 亀田 正明

コーディネータ：

東京大学 客員准教授 松本 真由美 氏

【セッション3】 太陽光発電 真の便益と課題

15:40～16:10 ●再生可能エネルギー（太陽光発電）の導入に伴う効果・影響分析

株式会社三菱総合研究所 環境・エネルギー研究本部

低炭素エネルギー戦略グループ 井上 裕史 氏

16:10～16:40 ●再生可能エネルギーが地域社会にもたらす便益と福島県の取り組み

福島県 企画調整部 次長 佐々木 秀三 氏

16:50～17:30 ●太陽光発電 真の便益と課題

一般社団法人 太陽光発電協会 光発電部会 部会長 増川 武昭

2日目：10月23日（金）

【セッション4】 PV100年構想 ～さらなる太陽光発電の導入拡大に向けて～

9:30～10:10 ●PV100年構想 ～さらなる太陽光発電の導入拡大に向けて～

経済産業省 資源エネルギー庁

省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギー対策課長 松山 泰浩 氏

【セッション5】 電源としての競争力を高める ～グリッドパリティ・新ビジネスモデルへの挑戦～

10:10～10:40 ●太陽光発電システムの発電コスト低減に向けたNEDOの取り組み

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

新エネルギー部 太陽光発電グループ 主任研究員 山田 宏之 氏

10:50～11:20 ●システムコスト低減の国際トレンドとソケットパリティ到達見通し

ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンス

再生可能エネルギーアナリスト 川原 武裕 氏

11:20～11:50 ●エネルギー自立型住宅・ビル・街の実現に向けて

神奈川県 産業労働局 エネルギー部長 山田 健司 氏

12:50～13:20 ●住宅用太陽光発電システムの今後のビジネス動向

積水化学工業株式会社 住宅カンパニー 商品開発部 塩 将一 氏

13:20～13:50 ●太陽光発電を核としたエネルギーソリューションの広がり

シャープ株式会社 エネルギーソリューションカンパニー

エネルギーソリューション事業推進センター

国内企画部 部長 相場 誠弥 氏

Press Release

13:50～14:20 ●「走る蓄電池」としての電気自動車 ～ 自動車会社の取り組みと電気自動車の将来 ～
日産自動車株式会社 バッテリー事業本部 副本部長 桂 直仁 氏

14:20～14:50 ●太陽光発電システムで切り拓く自家消費ビジネス
三菱電機株式会社 電材住設PV事業部 電材住設PV計画部 部長 杉本 年秀 氏

【セッション6】 太陽光発電の大量導入を可能とする電力系統とのインテグレーション

15:00～15:30 ●エネルギーシステムインテグレーション ～ 世界から学び、世界をリードする ～
東京大学生産技術研究所
エネルギー工学連携研究センター 特任教授 荻本 和彦 氏

15:30～16:05 ●ドイツにおける再エネ電源の大量導入 ～ 日本が学ぶべき事 ～
一般社団法人 太陽光発電協会 欧州調査タスクフォースリーダー 長峯 卓

16:15～16:45 ●電力系統における再生可能エネルギー導入拡大に向けた取り組み
東京電力株式会社 経営技術戦略研究所 副所長 兼 技術開発部長 蘆立 修一 氏

【セッション7】 100年先まで続く太陽光発電の安定成長を目指して

16:45～17:30 ●100年先まで続く太陽光発電の安定成長を目指して～ 太陽光発電ビジネスの挑戦 ～
都留文科大学 教授 高橋 洋 氏

17:30 ●閉会挨拶
一般社団法人 太陽光発電協会 事務局長 亀田 正明

《『太陽光発電協会』について》

一般社団法人太陽光発電協会（Japan Photovoltaic Energy Association：略称JPEA）は、1987年にその前身である『太陽光発電懇話会』として設立されてから現在に至るまで、一貫して太陽光発電の普及促進と産業発展に努めてまいりました。セル・モジュールメーカーから周辺機器、ゼネコン・住宅関連、流通、電力、公益団体等、太陽光発電に関連する幅広い企業・団体143社（2015年9月8日現在）によって構成されています。

《本件に関する問合せ先》

一般社団法人 太陽光発電協会 担当：穂岐山
〒105-0004 東京都港区新橋2-12-17 新橋I-Nビル8階
TEL：03-6268-8544 FAX：03-6268-8566 URL：<http://www.jpea.gr.jp>

以上